

第 2 回 大阪市立堀川小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立堀川小学校
校長名 中谷 裕巳

日 時	平成 28 年 11 月 14 日 (月) 10 時 00 分～11 時 15 分 (1 時間 15 分)	
場 所	大阪市立堀川小学校 校長室	
出席者	委員 8 名	
議題	(1) 学力向上アクションプランの説明及び全国学力学習状況調査の結果について (2) 本年度の学校の取り組みについて (3) 運営に関する計画（中間評価）について	
協議要旨	協議の結果 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本校の学力向上アクションプランと全国学力学習状況調査についての結果と考察を共通理解することができた (2) 本校の今年度の取り組みについて、映像を交えて具体的に説明することを通して成果が明らかになった。 英語活動および I C T の機器の活用については、今までの取り組みをより具体的に説明し共通理解した。 (3) 運営に関する計画（中間評価）について取り組みごとに詳しく説明することにより今までの成果が明らかになった。 	意見の概要 <ul style="list-style-type: none"> ○国語、算数ともに全国平均を 4~6 ポイント上回っている。しかし、子どもの意識調査では「自分には、よいところがある」のポイントが全国平均から 12 ポイントも低い。自尊感情を高めるために子どもを肯定的なまなざしで見つめ、褒めることを繰り返し行うことが必要であろう。 ○なわ跳び運動やその他の活動で、「努力したら伸びる」という意識を持たせ、自己肯定感を感じさせることが必要であろう。 ○英語は、「言語として教える」というのではなく、音楽や映像を交えて楽しく教えている。低学年からの積極的な取り組みにより外国の方々に対して物怖じしない子どもに育つ。子どもたちのアンケート調査の結果を見ると「英語活動は楽しい」という肯定的な評価が 8 割以上いる。今後も子どもたちが楽しんで取り組める英語活動の実践を目指してほしい。 ○学力の向上に関しては、本校の研究「道徳」での取り組みについて具体的な説明によりおおむね理解できた。今後も継続して指導を続けてほしい。 ○マーチングがより楽しい活動になるよう取り組んでいただきたい。苦手な子どもがマーチングの取り組みに参加して成就感を得られるようにしてほしい。 ○中 1 ギャップに苦しんでいる子どもたちも多いと聞いている。小中連携について具体的な取り組みを明確にして取り組んでほしい。
協議資料	学校協議会パワーポイント画像資料 平成 28 年度学力向上アクションプラン及び平成 28 年度全国学力学習状況調査の結果 児童アンケート結果	
備考	傍聴者 [0] 名	